

医療法人社団 唱和会



明野中央病院

2016年度 事業報告書

vol.10

2016年4月

2017年3月

ホームページもご覧ください

<http://www.akenohp.jp/>

明野中央病院

検索

看護部ブログも更新中 フェイスブックもチェック!



病院理念

医療・介護を通じ、患者さんの生活の質の向上に努める

基本方針

- 一．家庭的な優しい医療・介護の実施に努めます
- 一．地域の皆様から安心・信頼される病院づくりに努めます
- 一．患者さんひとりひとりの権利を尊重するように努めます
- 一．たえず医療・介護の質の向上に努めます
- 一．地域の健康増進・病気の予防に努めます

ご 挨拶



院長 木下 昭生

アリアナ・グランデのイギリスマンチェスター公演会場での爆発による 22 人が亡くなった事件を始め、同じイギリスのロンドンやインドネシアのジャカルタ、フィリピンのマニラ等世界中でテロが頻発しています。トランプ大統領の誕生で、環太平洋戦略的経済連携協定 (TPP) や地球温暖化防止に対する国際条約 (パリ協定) からアメリカが離脱宣言し世界経済や世界の環境問題に大きな影響が及ぶと見られています。また、隣国北朝鮮は今年になってミサイル発射を繰り返し、東アジアの安全に大きな影響を与えています。これらの問題は、連日テレビ、新聞で大きく取り上げられています。一方、わが国は、急速に進む少子高齢化と長期債務の狭間で将来の社会保障をどうして維持していくかの大きな問題を抱え、国は“医療と介護の方向性を大きく変えよう”と動き出していますが、このことは意外に国民に知られていません。国は、急性期病棟の平均在院日数にさらに在宅復帰率という縛りを設け、また、地域医療構想では、急性期ベッドの削減を提言しています。2025 年からは、在宅医療や介護を柱にした地域包括ケアシステムがスタートしますが、先日のある医療関係会社の医師向けのインターネットアンケートでは、地域包括ケアシステムという言葉が「聞いたことがない」「知らない」と答えた医師が 33%もいたという結果が出ていました。医師ですらこの惨状ですから一般の国民の理解度は推して知るべしです。2025 年まであと 8 年しかありません。おそらく、来年の診療報酬・介護報酬の同時改訂では、地域包括ケアシステムを意識した報酬改定が数多く行われるでしょう。すぐ間近に迫っているのはオリンピック・パラリンピックだけでないことを、老後の医療や介護について直接影響のある国民自身にもっと広く周知すべきと思います。

さて、明野中央病院は昨年の 7 月から新病院での診療を開始いたしました。引き続き当院をよろしくおねがい申し上げます。2016 年度の年報ができあがりました。ご一読いただければ幸いです。



目 次

地域交流会（ふくろうの会）	1
ボランティアの会	2
病院概要	3
施設基準	4
病院沿革	5
創設者 中村裕について	6
職種別職員数	6
組織図	7
年間行事	8
病院増改築工事について	11
部門報告	
<医療安全管理室>	14
<地域医療連携室>	15
<こつ・かんせつ・リウマチセンター>	16
<診療部>	
内科	18
消化器内科	20
整形外科	21
麻酔科	24
<医療技術部>	
リハビリテーション科	26
診療情報管理室	30
栄養科	31
薬剤科	33
放射線科	34
臨床検査科	36
臨床工学科	38



<看護部>	
看護部	39
外来	41
2階病棟	42
3階病棟	44
手術室	46
<事務部>	
事務部	49
医療事務課	50
明野中央介護支援センター	52
訪問看護ステーションふくろう	53
委員会報告	
<委員会>	
医療事故防止委員会	56
感染対策委員会	60
褥瘡・栄養対策委員会	63
業務改善委員会	64
教育委員会	65
<その他>	
NST（栄養サポートチーム）	66
糖尿病相談会	68
静脈血栓塞栓症（VTE）対策チーム	69
禁煙サポートチーム	70
親和会（厚生会）	71
新聞報道	73
入職1年を振り返って	77
入職5年を振り返って	77
入職10年を振り返って	79
入職15年を振り返って	79
入職20年を振り返って	80
入職25年を振り返って	80

地域交流会（ふくろうの会）

○設立目的

当院は、病院理念に「医療・介護を通じ、患者さんの生活の質の向上に努める」を掲げ、地域の皆様から安心信頼される病院作りを目指し日々努力しております。さらに今後も真に地域に根ざした医療機関として皆様方の期待に応えられる病院としてのあるべき姿を模索しております。そこで、広く地域の皆様方と意見交換を行い、医療全般に関する苦情、要望、地域の病院として当院の果たす役割等についてご意見を頂きたく設立しました。（2004年9月発会）

○メンバー 2017年3月現在（敬称略）

湯田 国男 （ふくろうの会会長）
倉八 誠 （明野日の出町自治会長）
甲斐田 生嗣（明野高尾自治会長）
首藤 和也 （明野東町自治会長）
小柳 義明 （明野旭町自治会長）
飛河 克子 （日本リウマチ友の会大分支部長）





ボランティアの会

○メンバー 2017年3月現在（敬称略）

会長 志水 篤信

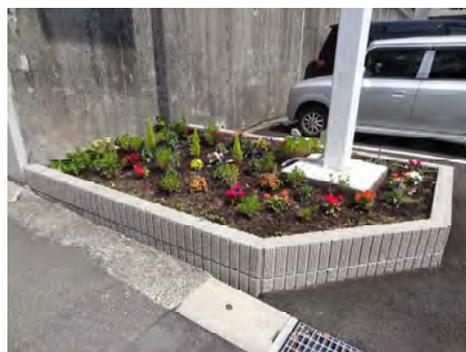
副会長 赤田 久代 田代 千枝

加来 邦子 倉住 れい子 坂井 礼子 佐々木 友江

高平 潤子 高木 美和 石田 洋子

○活動内容

- ・グリーンボランティア
- ・各種イベント企画
- ・ガーデンティーパーティー
- ・講演会手伝い等



花壇の植え替え



ガーデンティーパーティー



ボランティアの皆さん



病院概要 (2017年3月現在)

診療科目	内科／整形外科／リウマチ科／消化器内科 形成外科／リハビリテーション科／麻酔科（森正和） 放射線科／ペインクリニック内科
病床数	75床（一般） 2階病棟 一般：45床（地域包括ケア病床10床含む） 3階病棟 回復期リハビリテーション病棟：30床
研修施設	日本整形外科学会研修施設 日本手外科学会研修施設 日本リハビリテーション医学会研修施設 日本高血圧学会研修施設 日本リウマチ学会教育施設
学会認定 専門医・指導医	日本内科学会 専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 日本整形外科学会 専門医 日本脊椎脊髄病学会 指導医 日本手外科学会 専門医 日本リハビリテーション医学会 指導医 専門医 日本リウマチ学会 指導医 専門医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本神経学会 専門医 日本麻酔科学会 専門医 日本ペインクリニック学会 専門医



施設基準

7 : 1 入院基本料
地域包括ケア入院医療管理料 1
在宅時医学総合管理料又は特定施設入院時等医学総合管理料
診療録管理体制加算
検体検査管理加算(Ⅱ)
医師事務作業補助体制加算
CT 撮影及び MRI 撮影
急性期看護補助体制加算
感染防止対策加算
外来化学療法加算 I
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
後発医薬品使用体制加算
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
病棟薬剤業務実施加算
データ提出加算
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
回復期リハビリテーション病棟入院基本料 1
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 5 及び 6 に掲げる手術
入院時食事療養(Ⅰ)
輸血管理料Ⅱ
輸血適正使用加算
麻酔管理料
ニコチン依存症管理料
がん治療連携指導料
薬剤管理指導料
別添 1 の「第 14 の 2」の 1 の(3)に規程する在宅療養支援病院

病院沿革

1974(昭 49)1 月	医療法人社団恵愛会 大分中村病院の分院として開院 (病床数 65 床) 『救急指定病院』『労災指定病院』の指定取得
1978(昭 53)11 月	『医療法人社団唱和会 明野中央病院』として、分離独立
1997(平 9)3 月	社団法人日本整形外科学会認定医制度による『研修施設』認定取得
1999(平 11)5 月	第一期増築工事完成 (病床数 70 床) バイオクリーンルーム設置 ヘリカル CT 設置
1999(平 11)7 月	身体障害者福祉法第 19 条の 2 の規定による『更生医療を担当する医療機関』の 指定取得
2002(平 14)年 6 月	第二期増築工事完成 (病床数 75 床)
2002(平 14)年 7 月	MRI 設置
2002(平 14)年 9 月	パワーリハビリテーション機器導入
2004(平 16)年 1 月	一般病床 45 床、特殊疾患療養病棟 (30 床) に変更
2004(平 16)年 3 月	『臨床研修病院』指定取得 (厚生労働大臣指定)
2005(平 17)年 9 月	一般病床のうち、8 床を『亜急性期入院医療管理料』として届出
2005(平 17)年 10 月	日本医療機能評価機構 認定取得
2006(平 18)年 4 月	『亜急性期入院医療管理料』を 8 床から 10 床に変更 院外処方箋発行開始
2006(平 18)年 9 月	マルチスライス CT 設置
2007(平 19)年 2 月	特殊疾患療養病棟 (30 床) を回復期リハビリテーション病棟 (30 床) に変更
2008(平 20)年 1 月	日本手の外科学会 基幹研修施設に認定
2008(平 20)年 10 月	回復期リハビリテーション病棟入院基本料 1 (重症患者回復病棟加算)
2009(平 21)年 7 月	『こつ・かんせつ・リウマチセンター』開設
2009(平 21)年 11 月	『日本リハビリテーション医学会 研修施設』に認定
2010(平 22)年 4 月	『日本高血圧学会 高血圧認定研修施設』に認定 『日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設』に認定
2010(平 22)年 9 月	『日本リウマチ学会教育施設』に認定
2010(平 22)年 10 月	日本医療機能評価機構 Ver.6 更新
2014(平 26)年 4 月	亜急性期病床(10 床)を地域包括ケア病床(10 床)に変更
2015(平 27)年 9 月	増改築工事 着工
2017(平 29)年 3 月	増改築工事 完成

創設者 中村裕について

創設者 中村 裕 (1927年～1984年)



1951年	九州大学医学部卒業 同大学整形外科医局に入局
1960年	英国ストーク・マンデビル病院に留学
1961年	第1回大分県身体障害者体育大会を開催
1964年	東京パラリンピックの日本選手団長を務める（以降、1980年までの全ての夏季パラリンピックの団長を務める）
1965年	大分県別府市に、障がい者の自立を目的とした「社会福祉法人 太陽の家」を設立
1975年	第1回極東・南太平洋身体障害者スポーツ大会（フェスピック）開催
1981年	第1回大分国際車いすマラソン大会の開催に尽力
1984年	死去 享年 57

当院は、1974年1月に創設者であり前理事長である中村裕により開設されました。中村裕は、日本ではまだ「リハビリテーション」という言葉も普及していなかった昭和30年代に当時の医療先進国イギリスに渡り、最新の医療事情、特に障がい者の社会復帰のためのリハビリテーションと障がい者スポーツを学びました。その経験を日本に持ち帰り、1965年に障がい者の社会復帰を支援する社会福祉法人「太陽の家」を創設しました。整形外科の医師としては、大分中村病院（1966年12月）と明野中央病院という2つの病院を開設し、障がい者スポーツの分野では、東京パラリンピックや極東・南太平洋障害者スポーツ大会（フェスピック）などの開催に尽力しました。1981年の国際障害者年を記念して中村の提唱により始まった「大分国際車いすマラソン大会」は、すでに長い歴史を刻み、今では世界最高レベルの障がい者スポーツ大会として世界中の車いすアスリートの目標となっています。

職種別職員数

150名

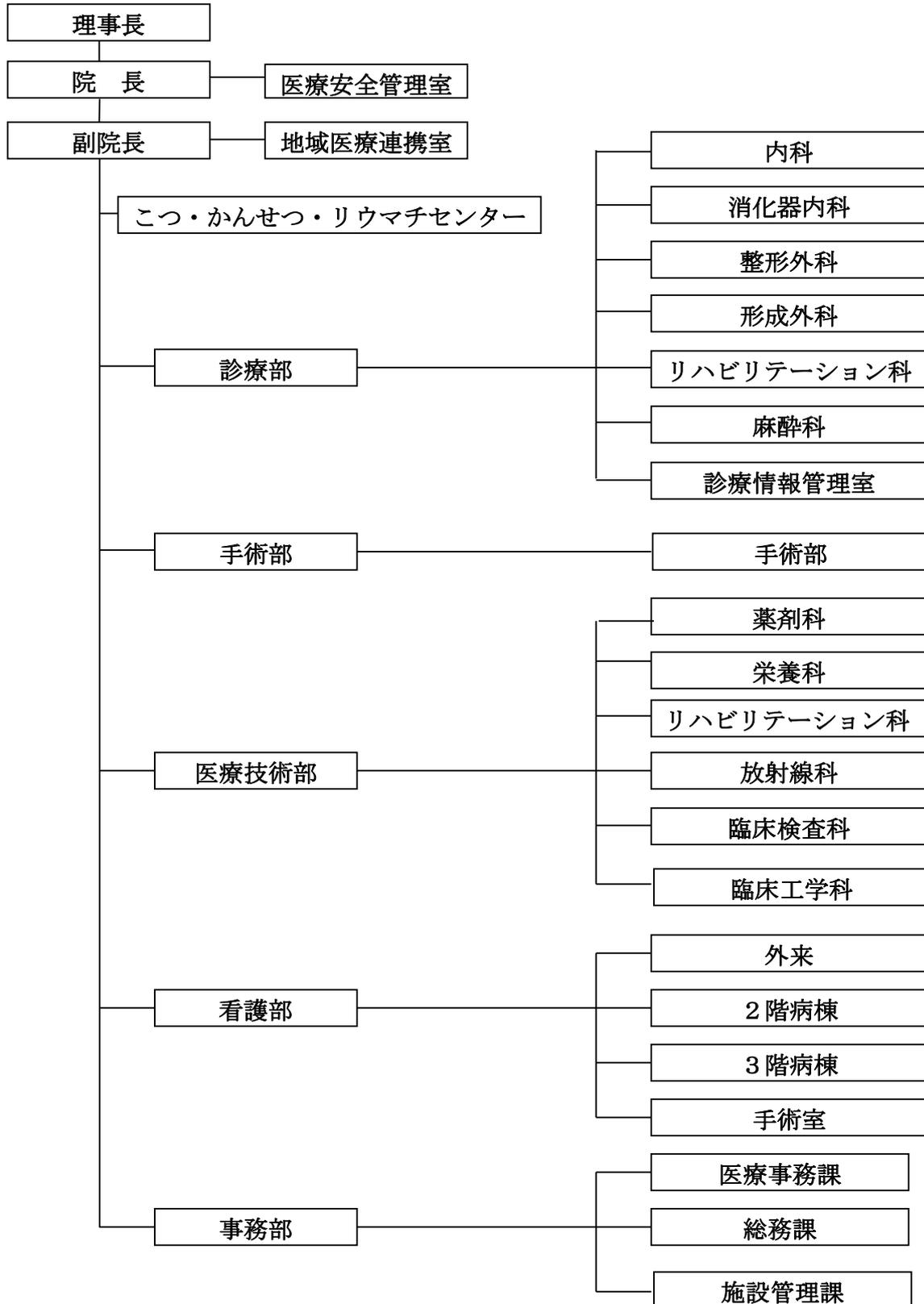
(2017年3月31日現在)

医 師	9名	診療放射線技師	4名
薬 剤 師	3名	臨床検査技師	3名
看 護 師	74名	臨床工学技士	1名
准 看 護 師	1名	管理栄養士	2名
看護業務補助者	10名	医療ソーシャルワーカー	1名
理学療法士	14名	事務職員	21名
作業療法士	6名		
言語聴覚士	1名		



組織図

2017年3月31日





年間行事

2016年 4月 ○親睦会
 ○医療ガス研修会

2016年 5月 ○ふれあい看護師体験
 ○感染研修会



医療ガス研修会



ふれあい看護師体験



2016年 6月 ○第11回 ボーリング大会
 ○個人情報&MRI研修会



個人情報&MRI研修会



ボーリング大会



2016年 7月

○医療事故研修会

2016年 8月

○NST 研修会



医療事故研修会



NST 研修会

2016年 9月

○大東中学職場体験

○防災訓練

○倫理研修会



中学生職場体験



防災訓練



倫理研修会



- 2016年10月 ○労働安全研修会
- 2016年11月 ○救急研修会
- 2016年12月 ○忘年会



救急研修会



忘年会

- 2016年1月 ○第9回 新春明野寄席
- 感染研修会



新春明野寄席

- 2016年3月 ○医療事故研修会
- 病院総会



病院増改築工事について

2015年9月着工から2017年3月に全ての増改築工事が完了いたしました。

患者の皆様、お見舞いや近隣住民の方々には、長期間の工事で大変ご迷惑をおかけいたしました。念願の新病院も完成し、今後とも地域の皆様の健康づくりに少しでも力になれるよう、気持ちも新たに職員一同取り組んで参ります。変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

